



加盟
団体



サンフレッチェ広島



JTサンダース



ワクナガレオリック



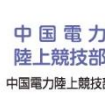
広島メイプルレッズ



広島ガスバドミントン部



NTT西日本ソフトテニス部



中国電力陸上競技部



コココーラレッドスパークスホッケー部



広島東洋カープ

トップス広島 事務局

〒734-0007

広島市南区皆実町2-8-42
猫田記念体育館1F

TEL:082-254-2012

FAX:082-251-5712

URL:www.tops-h.net/

このQRコードから
公式Webサイトへ
アクセスできます。



広島東洋カープ

広島東洋カープ悲願の日本一ならず

広島東洋カープは11月3日（土）に行われたSMBC日本シリーズ第6戦で福岡ソフトバンクホークスに2-0で敗れ日本一達成に届かなかった。

第1戦、2戦はマツダスタジアムで行われた。第1戦引き分けだったものの、第2戦で、広島東洋カープは勝利し、好スタートを切った。そして福岡ヤフオクドームに移り、第3戦、4戦、5戦が行われた。

第3戦は福岡ソフトバンクに敗れ1勝1敗になった。だがしかし、第4戦5戦とも広島東洋カープは敗れ、福岡ソフトバンクホークスは王手をかけた。

広島は後がなくなったまま、本拠地であるマツダスタジアムで第6戦に臨んだ。広島は積極的に盗塁を仕掛けたが、失敗し、攻め手を封じられた。

そして4回に福岡ソフトバンクの西田がスクイズを決め、1点入り、先制し4回にグラシアルが本塁打を打ち2-0とした。その後広島打線を抑え、福岡ソフトバンクホークスは日本一に輝き、広島東洋カープは日本一達成にならなかった。

逃した広島は来シーズンこそは日本一目指して、頑張ってもらいたい。



日本シリーズ開会式



JTサンダース

ホームゲームで今シーズン初勝利

開幕戦で敗れたJTサンダースは、今シーズン初勝利をかけて呉オークアリーナで東レアローズとの一戦に臨んだ。第1セット、エドガー選手や劉選手のサービスエースで一気に攻めた。中盤に連続失点を喫し接戦となるが、リベロの井上(航)選手を中心としたレシーブで粘りを見せる、その後6連続得点をあげ、そのまま突き放し25-19で第1セットを先取した。第2セット、序盤は劉選手やエドガー選手の攻撃などで11-7する展開となる。東レアローズのタイムアウト後に連続失点を喫し、差を詰め寄られるが、中盤には山本選手の3連続得点などでリードを広げていき25-18でセットを連取した。第3セットは序盤から両者譲らぬ展開が続くが、劉選手の3本のサービスエースなど6連続得点で一気に流れはJTサンダースにいく。中盤にはセッター深津選手の多彩なトスワークからの攻撃が決まり、そのままJTサンダースが25-17で今シーズン初勝利を飾った。

この流れで、優勝を勝ち取ってもらいたい。

アタックを決めたエドガー選手



喜ぶ選手たち





ホッケークリニック in 京都

9月15日(土)、京都府・グリーンランドみずほ人工芝ホッケー場にて今年3回目となるホッケークリニックを行った。この日、参加してくれた京丹波町の小・中学生約70名の子供たちとホッケー競技に入る前にアイスブレイクとして「人間知恵の輪」という少し頭を使うゲームを行いながら距離を縮めた。その後ホッケー競技に移り、各グループに分かれてドリブル練習や対人練習を行った。選手たちの指導を子供たちが真剣に聞く場面も多々見受けられ、メリハリのある有意義なホッケークリニックとなった。



人間知恵の輪をする子供たち



お手本を見せる選手

激闘！高円宮牌 2018 ホッケー日本リーグ第6節

高円宮牌 2018 ホッケー日本リーグ第6節が10月19日(金)～10月21日(日)の3日間、レッドスパークスのホームグラウンドであるコカ・コーラレッドスパークスホッケースタジアムで開催された。

1日目は南都銀行 SHOOTING STARS と対戦。相手の堅い守りに苦戦し、無得点のまま前半を終えた。試合が動いたのは第3クォーター、熱い応援を背に流れを掴んだレッドスパークスはペナルティーコーナーで浅井選手が強烈なヒットシュートを決め先制点を奪う。さらに流れに乗るレッドスパークスは金藤選手の絶妙なセンタリングにうまく合わせた江村選手が追加点を決め、2-0でレッドスパークスが勝利した。

2日目は山梨学院 CROWNING GLORIES と対戦。前日の勢いそのままに開始から激しく攻め続けるレッドスパークスは、第2クォーターに金藤選手と辻井選手がそれぞれタッチシュートを決め、2得点。さらに第3クォーターでも加藤選手が追加点を奪い、3-0で快勝した。

最終日はソニーHC BRAVIA Ladies と対戦し、開始早々、藤井選手のスクープパスを前線で受けた河村選手がスピードのあるドリブルで相手DFとキーパーをかわし先制点を決める。1点リードで迎えた第3クォーターでまたも河村選手がリバースヒットシュートから得点を決め、スコアを2-0とする。しかし、その2分後に1点を返されるレッドスパークス。そして第3クォーター終了間際、ソニーの勢いのある攻撃に1分間で2失点し、あっという間に逆転されてしまう。第4クォーターに入り、レッドスパークスは得点を狙い果敢に攻め続けるがゴールネットを揺らすことができず2-3で惜敗した。

これで2ndステージ5戦を終え、レッドスパークスは2位で12月に行われるファイナルステージへ進出を決めた。ファイナルステージでは4年ぶりの日本リーグ優勝を目指す選手たちの最高のパフォーマンスに期待したい。



ドリブルをする金藤選手



勝利を喜ぶ選手たち



福井しあわせ元気国体に出場するも

10月5日(金)から3日間、福井しあわせ元気国体が行われ、その大会に広島県代表として広島ガスバドミントン部から亀田選手・喜岡選手・下田選手の3選手が出場した。初戦で富山県代表と対戦し、下田選手がシングルスで勝利を収めるも1-2で敗れてしまった。

初戦で敗れてしまったものの、様々な大会に出場していろいろな経験をしてきた選手たちに来年の国体では、優勝を目指して頑張ってもらいたい。



広島一筋、森崎和幸選手引退

10月27日(土)、サンフレッチェ広島のレジェンド森崎和幸選手が現役引退を発表した。ユース時代を含め22年間広島一筋でプレーをしてきた森崎選手の決断は多くのファンだけでなく共に戦った選手も衝撃が走った。森崎選手は「約20年間のプロ生活でもさまざまな経験をさせてもらいました。歓喜に満ち溢れた3度のJ1優勝はもちろんのこと、悔しさを味わった2度のJ2降格、自分自身の体調不良による離脱など、喜びだけでなく、苦しい時期もたくさんありました。それでも何度も這い上がってこられたのは、やはりファン・サポーターの皆さんがどんな時も常にそばにいてくれたからです。いろんな想いを一緒に共有できたことは、僕のサッカー人生における大切な宝物になりました。長い間、支えてくださり感謝しています。」とコメント。広島出身の森崎選手にとって地元のファンからの後押しは力になっただろう。

ファンにとって背番号8番「KAZU」のプレーを来シーズンから見るができず残念であるが、今シーズン残り2試合、森崎選手の巧みなプレーで有終の美を飾ってほしい。



ハンドボールリーグ開幕！ 湧永製薬は5勝6敗で5位と苦しむ

9月22日(土) 境港市民体育館で男子日本ハンドボールリーグが開幕した。開幕戦の相手は昨年2位のトヨタ車体。前半からリードを許し25-32で開幕戦を落としてしまう。続く2戦目となった大同特殊鋼との地元開幕戦。前半はラスト1分で1点差まで詰め寄り、後半開始後に同点に追いつく。しかし、大同特殊鋼の選手の得点が決まり万事休す。地元開幕戦も勝利することはできなかった。リーグ戦3試合目となったトヨタ紡織九州との試合。前半は両チーム点を取り合い16-17の1点ビハインドで終える。後半、湧永製薬ルーキーの庄子の攻撃で得点を重ね、30-29でリーグ戦、地元初白星を飾った。続くトヨタ紡織九州戦を24-23、琉球コラソン戦も24-23で勝利し3連勝と波に乗る。しかし、地元開幕戦で敗れた大同特殊鋼に24-27で敗戦する。続く北陸電力戦では29-19で快勝。

その後は勝ち負けを繰り返し第9週が終わり5勝6敗の5位につけた。上位3チームは10勝、4位も9勝と上位チームには差があるが、まだまだリーグは長い。これからの巻き返しに期待したい。



苦戦の末に得た大きな収穫

10月6日(土)と7日(日)の2日間、福井県の武生中央庭球場にて、第73回国民体育大会が開催された。広島県の代表として、NTT西日本ソフトテニス部から長江光一選手、村上雄人選手、船水雄太選手、丸中大明選手、林大喜選手の5選手が出場した。2連覇を目指したチームは、決勝まで順調に駒を進めたものの、決勝で日本代表を擁する和歌山県代表チームと激突。ダブルスを制し、シングルスを下として迎えた第3戦。村上雄人選手と林大喜選手ペアが登場。序盤にリードを許し、苦しい展開となるも、じわじわと追いつける。しかし、最後は相手に押し切られ敗戦。準優勝で終わり、連覇の夢はついに叶わなかった。

10月19日(金)から21日(日)の3日間、熊本県の熊本県民総合運動公園で開催された第73回天皇賜杯・皇后賜杯全日本ソフトテニス選手権大会では苦戦を強いられた。

この大会には、水澤悠太選手・船水雄太選手ペア、長江光一選手・丸中大明選手ペア、村上雄人選手・林大喜選手ペア、村上匠選手・広岡宙選手ペアの4ペア8選手が出場。村上匠選手・広岡宙選手ペアは3位入賞、村上雄人選手・林大喜選手ペアはベスト8、水澤悠太選手・船水雄太選手ペアと長江光一選手・丸中大明選手ペアはベスト16で大会を終えた。

初日は、全ペアが順当に勝ち進んだが、2日目に第1シードの水澤悠太選手・船水雄太選手ペアと第2シードの長江光一選手・丸中大明選手ペアが5回戦で敗退してしまうという波乱の展開となる。さらに、最終日には昨年優勝を経験した村上選手がいる村上雄人選手・林大喜選手ペアが準々決勝で敗退し、チームとして苦しい展開となる。しかし、最後に残ったルーキーペアの村上匠選手・広岡宙選手ペアが気を吐いた。準々決勝で長江選手・丸中選手ペアを倒した強豪を相手に堂々と渡り合い、準決勝進出。そのまま初の決勝進出も期待されたが、準決勝で実力派のペア相手にわずかな差で敗れ、3位入賞で大会を終えた。ルーキーながら、チームを背負って戦った村上匠選手・広岡宙選手ペアに会場から大きな拍手が送られた。

この2大会では、苦戦を強いられたNTT西日本ソフトテニス部。しかし、その中でも、村上匠選手・広岡宙選手ペアの躍進は収穫と言えよう。苦戦の先に得た収穫はチームとしてとても大きなものであった。

速く走るコツを伝授・鹿島中学陸上教室

10月16日（火）、島根県松江市の鹿島中学校のグラウンドで同校2年生を対象に陸上教室を開催した。当日は晴天のもと、森宗選手、OBの田子選手、池淵選手、スタッフ2名で元気な生徒40名と楽しく陸上競技について学んだ。ウォーミングアップでは、生徒のおしりにつけたたすきを、選手が追いかけて取る、というしっぽとりゲームを行った。このゲームでは、追いかけることで自然と速く走れるということ、実体験を踏まえ指導した。また、〇×クイズでは選手が設定時間ぴったりストップウォッチを止めることができるか等のクイズを出題し、選手のすごさを感じてもらいながら楽しんでもらった。最後に行った恒例のミニ駅伝では、生徒チーム対選手チームで真剣勝負を行い、生徒から「もう1回！」と声がるほどの盛り上がりを見せた。今回の陸上教室では、陸上競技の知識だけでなく、体を動かすことの楽しさや、みんなでふれあうことの楽しさを感じてもらえた。このような体験をたくさんの子供たちにしてもらうため、中国電力陸上競技部は中国地方を中心に陸上教室を行っている。

今後もより多くの子供たちに陸上競技を通して、運動することの楽しさを伝えていきたい。



広島メイプルレッズ

西区ハンドボールチャレンジ！

9月29日（土）西区スポーツセンター主催、トップスポーツサポート行事として「広島メイプルレッズ ハンドボールチャレンジ」が開催された。小学生を対象に、広島メイプルレッズの選手と一緒にハンドボールの基本練習やゲームが行われた他、広島メイプルレッズ応援Tシャツ争奪じゃんけん大会も行われた。参加特典として、選手との記念撮影やサイン会も行われた。

また、11月3日（土）マエダハウジング東区スポーツセンターで開催された「広島メイプルレッズ VS 大阪ラヴィッツ」のプレイヤーズエスコートキッズへの参加権もあり、希望者の子供たちは、試合の際選手と手を繋いでコートに入場するという貴重な体験となった。



子供に教える堀川選手

各チームの1押し選手を紹介します。

☆選手紹介コーナー☆

中国電力陸上競技部

北 魁道選手

生年月日 1992年2月23日

身長 170cm

血液型 A型

出身地 広島県

↓担当者からのコメント

2年間の不調を経て、これから頑張ってもらいたい選手。チームを引っ張ってほしい存在。



子供たちとじゃんけんをする中村選手



ロゴマークの意味

広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。ジュニア選手がトップを目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。